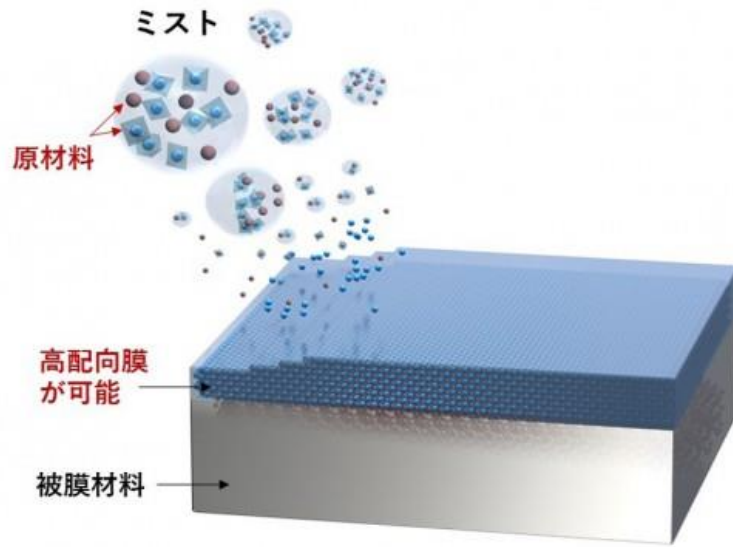


パワーデバイス分野のユニコーンを目指して

株式会社 FLOSFIA（京都府京都市）

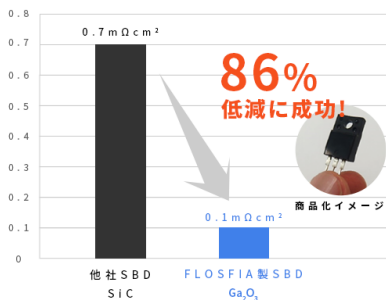


コア技術である「ミストドライ®法」を活用し、パワーデバイス事業、および成膜ソリューション事業を展開している。パワーデバイス（半導体）事業では、現在主流となっているシリコン製パワーデバイスではなく、酸化ガリウムを用いて電力変換ロスが少ない「GaO®パワーデバイス」の開発を行っている。

電力の変換ロスを低減

現在、電力変換時の電力損失は、全発電量の 10% 超を占めるなど極めて大きく、せっかく作り出された電気が無駄になるとして、世界的な社会問題と認識されている。新材料を用いた変換効率の良い材料として同社が着目したのが酸化ガリウムであり、同材料を用いた「GaO®パワーデバイス」は、将来的に様々なシーンで電力の変換ロスの低減が期待される。

事業開始当時は半導体における酸化ガリウム実用化の目処は立っておらず、大手企業に相談を行った時は「我々の企業では



絶対に通らない」とまで言われていたが、だからこそベンチャーで取り組む意義があると感じた人羅社長は、研究開発を進め、現在の事業に繋がっている。

量産化に向けた期待

今後は、パワーデバイスの量産を目標にしている。「GaO®パワーデバイス」は“半導体の台風の目”と言える程の可能性を秘めており、事業会社からの出資が多額になっていることからわかるように、実用化、事業化への期待は日に日に大きくなっている。

ただ、量産に向けた技術開発は研究開発とは全く異なることから、開発チームも別に必要だった。苦労も多かったが、あと一步のところまで来ており、ユーザーに評価を得ながらしっかりと立ち上げていきたいとしている。

ヒト、モノ、カネの様々な面で乗り越えなければならぬ課題は多いが、材料分野では売上高 1,000 億円超のメガベンチャーも少なくない。本分野のユニコーンとなるべく量産化事業を進めていく。



FLOSFIA

《企業情報》

株式会社 FLOSFIA

615-8245 京都府京都市西京区御陵大原 1-36

京大桂ベンチャープラザ北館

代表取締役 人羅 俊実

<http://flosfia.com/>

《関西のベンチャー企業である意義》

京都はベンチャーにとって良い場所と感じています。京都は良い意味でコミュニティが小さく、誰かに相談すれば適切な相談者がすぐ見つかる環境は非常に助かっています。

(代表取締役 人羅 俊実)

